



目指す児童像

「自然に親しむ優しい子ども」 「自分で学び考える子ども」
 「気力・体力を高める子ども」 「将来の夢をめざす子ども」

平成29年7月20日
 文責 平戸市立志々伎小学校
 校長 村田 俊郎

【1学期、ありがとうございました。】

71日間の1学期が終了しました。1年生5名も他の学年のように、ほとんど休むことなく元気に登校してきました。これも保護者の方のおかげです。ありがとうございました。

『一人はみんなのために、みんなは一人のために』を合言葉に、学級・学校力を高めることで一人一人の力をさらに高めてきました。体育館で全校的な活動があるときには、最初に来た学年（1年生でも）が窓を開けて待っています。また、活動後には、5・6年生がすばやく動いて窓を閉めたり道具を片づけたりと動いています。一昨日の交通安全教室でも、信号機等の片づけをさっと行い、交通安全指導員の方が感心されていました。

1・2年生は、4月からの学校探検や明寿会の方との交流会等で助け合って学習を進めてきました。

3・4年生は、学級のなかよしパワーがさらに高まるように、自分たちでサンシャインパーティーを計画実践しました。15名で係分担し、昼休みや放課後を利用して準備を進め成功させました。

この1学期は、『みんなのために』という集団を意識しての行動が多くみられ、チーム志々伎としての力が大きく伸び、その結果として一人一人の力もついてきたと実感しています。

【親子で読書・みんなで読書】

転入生が来ました。5年生だけど6年生とまちがえるくらい大きな男の子、所くん。所くんは一週間もたたないうちに、クラスみんなから「トトロ」と言われて、いじられるようになります。所くんは勉強が苦手で、ときどき居眠りもしています。

そんなある日、所くんが「水辺の楽校」という場所にぼくを誘ってくれます。水辺の楽校での所くんは、草花や昆虫について詳しくて木登りもすばやく、とても輝いていました。

二人の男の子の友情を描いた夏の物語です。



【自分たちで】

18日の児童集会で、図書委員会から多読賞の表彰があり、最高は237冊でした。全校では3707冊で、一人平均106冊です。本は心の栄養で心を耕し心を豊かにします。この夏も多くの本とふれてほしいと思います。

放送委員会からは、夏の俳句コンクールの表彰がありました。金賞・銀賞・銅賞と表彰されました。

『貝がらを耳にあてれば波の音』（4年生金賞）

子どもたちが自分たちで企画し実践することで、自分たちのこととして考え、主体性が育ちます。



【交通安全教室】

19日に交通安全教室を実施しました。1・2年生は、歩行者として信号の渡り方等を練習しました。3～6年生は、自転車の点検の仕方や乗り方と歩行練習をしました。

最後には、全員で『交通安全の誓い』を言って終わりました。

①とび出しは絶対にしません。②きちんと歩道を歩きます。③右・左・右を見てわたります。④車の前後は、渡りません。⑤交通ルールを守ります。

一つしかない命を自分の力で守って、長い夏休みを安全に過ごしてほしいと思います。

